

令和2年度 第24回関東高等学校新人卓球大会 第48回関東高等学校選抜卓球大会



期 日 I部：令和2年12月25日（金）～12月27日（日）
II部：令和2年12月28日（月）

会 場 I部：ALSOK ぐんまアリーナ
II部：千葉ポートアリーナ

文 責 群馬県高等学校体育連盟卓球専門部委員長
群馬県立桐生高等学校 水 沼 一 郎

第24回関東高等学校新人卓球大会第48回関東高等学校選抜卓球大会は、I部が令和2年12月25日（金）～27日（日）の3日間、群馬県の「ALSOK ぐんまアリーナ」にて、II部は千葉県の「千葉ポートアリーナ」において開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本大会の開催も危ぶまれました。しかし、感染症防止対策の徹底、大会日程や試合方法の変更等、度重なる話し合いの中で生み出された多くの知恵、そして、選手のために是が非でも大会を開催したいという熱い思いが一つになり、長い道のりではありましたが、大会開催の決定にいたりました。日頃より選手たちを温かく見守り、励ましてこられたご家族の皆様、選手に寄り添い熱心にご指導にあたってこられた指導者の皆様に改めて深く敬意を表しますとともに、本大会の開催にご尽力いただきました関係各位に御礼を申し上げます。誰も経験したことのない未曾有の危機に直面しながらも決して逃げることなく立ち向かった選手たちを称え、大会結果を以下の通りご報告いたします。

【I部】

男女それぞれ20校（神奈川・埼玉・千葉・東京は各3校、茨城・群馬・栃木・山梨は各2校）が5校ずつの予選リーグの後、1位トーナメント戦・代表決定戦を経て、男子11校・女子10校の全国高等学校選抜卓球大会代表権を争いました。

男子は予選リーグから埼玉栄（埼玉）、東海大菅生（東京）、実践学園（東京）、安田学園（東京）が1位トーナメントに進出しました。決勝戦は東京都代表の安田学園が、同じく東京都代表で昨年度優勝の東海大菅生を3-0で下し、優勝の栄冠を勝ち取りました。予選リーグ2位の青藍泰斗（栃木）、岩瀬日大（茨城）、湘南工大附（神奈川）、作新学院（栃木）に加え、代表決定戦を勝利した、樹徳（群馬）、三浦学苑（神奈川）、明秀日立（茨城）の計11校が全国高等学校選抜卓球大会代表権を獲得しました。

女子は予選リーグから正智深谷（埼玉）、横浜隼人（神奈川）、武蔵野（東京）、和洋女子（千葉）が1位トーナメントに進出しました。決勝戦は埼玉県代表の正智深谷が、東京都代表の武蔵野を3-1で下し、見事に2連覇を達成しました。予選リーグ2位の明大八王子（東京）、大成女子（茨城）、秋草学園（埼玉）、真岡女子（栃木）に加え、代表決定戦を勝利した、樹徳（群馬）、木更津総合（千葉）の計10校が全国高等学校選抜卓球大会代表権を獲得しました。

【II部】

男女それぞれ16校（各都県2校）のトーナメント方式で試合を行いました。

男子は足立学園（東京）が決勝で前橋（群馬）を3-0で破り、連覇を達成しました。3位は木更津総合（千葉）、4位は大田桜台（東京）となりました。

女子は文星女子（栃木）が決勝で大田桜台（東京）を3-1で破り、優勝の栄冠を勝ち取りました。3位は千葉商大付（千葉）、4位は日立第一（茨城）となりました。